

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>開催日時 平成27年6月24日（水）18:30～20:10 健診ホール  出席者 栗崎部会長、佐久間副部会長、加藤、志布、疋田、池野本、川越、佐々木委員  説明員 平井総務部長、田村総務主幹、露口まちづくり主幹  事務局 小澤、大江</p>
<行財政運営>	<p>テーマ &lt; 13 行財政運営 &gt;</p>
露口主幹	<p>配布資料をもとに  ・現状と課題について説明～  ・基本的な考え方について説明～  ・計画の検証として～  総合計画の管理、行政評価の推進では、進行管理という所でしっかり取り組むという事を掲げている。事務事業におけるP D C A、計画を立てて行動をして再点検、再評価をしながら次へ進んでいく。これに関連して、行政改革の推進の所では、第6次行政改革の素案の部分の計画を取りまとめ作っていく予定。第4次の大綱は平成32年に策定が予定されている。外部委託の推進は未実施の部分はあるが課題を整理、点検しながら外部委託出来る部分はないかを掘り起こしながら行う体制になっている。</p>
栗崎部会長	<p>外部委託と言っているがP C 修理などで政府が騒いでいる情報漏れとかサービス面で冷たさが出てしまわないのか？そこが一番嫌な所。</p>
露口主幹	<p>そうならない様に皆さんの意見を反映していくのが大事だという事で取り組みをしていく。</p>
栗崎部会長	<p>カウンターの向こうでも愛想良くされると気分がいい。  他に特に発言なければ、次に進みたいと思います。</p>
小室主幹	<p>・基本的な考え方について説明～  財政の健全化について、平成24年11月に第2次の財政運営計画を策定している。それに基づいて町の財政運営を行っているが、町税の伸び悩み、国からの地方交付税が減っているという事がある。町の施設の老朽化が進み、維持、補修に経費が掛かっている。加えて社会保障の経費も増えていて大変厳しい財政状況にある。そうした中で、前回の会議で指摘を頂いたふるさと納税の取り組みを町の方で進めていて、知恵と工夫を重ねて安定した自主財源を確保していこうと。更には色々事業がある中で選択と集中をしっかり図っていく。昨年、残念ながら過疎地域に指定されたがそれを応援してもらえる様に上手く有効活用を図って計画的な財政運営を行っていきたい。  町の財政運営は取っつきづらく難しいイメージがあるが財政情報の透明性を高め分かり易く伝えていく。事業の優先度や緊急性をしっかりと見極め本当に必要な事業に限定して取り組み、財政運営を間違わないようにする。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室主幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の検証として～</li> </ul> <p>健全な財政運営の推進で第2次財政運営計画の着実な実行は今までの総合計画と一緒に。財政状況をしっかり見極めながら安定した運営を行っていきたい。財政基盤の強化と効率的な財政運営はふるさと納税の項目を追加している。少しでも町の応援をしてもらいたいとまちづくりGで新しい試みとして、「ふるさとチョイス」という事でインターネットを上手く活用して、ふるさと納税を少しでも頂ける様な取り組みを進めている。</p> <p>公共施設の最適化は、人口が減っていく中、今のまま維持管理していくのは非効率。老朽化で建て替えをする時は同じ様な施設を一つにしたり、複合的な施設を一つ作る事で維持管理のコストを抑えるなどの管理を行っていかなければならない。</p> <p>今回追加した分は、過疎地域に指定されたという事で、町で市町村計画を作っているなのでその計画に沿って過疎対策事業を進めていきたい。</p> <p>地方版総合戦略に即した財源の確保だが、地方創生は今年10月までに計画を作って出す事で計画に沿ったものに国が交付金を付けるとの話がある。その計画が地方版総合戦略となる。少しでも交付金を活用しながらまちづくりを進めていきたいと考えている。</p>
池野本委員	ふるさと納税は増えているのか？
露口主幹	増えている。今現在、4月から約900万円の寄付を頂いている。ホームページ内で決済、寄付が出来、ポイント制で美幌町の特産品を選べたりなどの取り組みを行った結果、どんどん額も件数も伸びてきている。
加藤委員	特産品は納税で頂いたお金から支出しているのか？
露口主幹	町でご協力を頂いた感謝という事で別に予算を組んでいる。寄付してもらった分は寄付という事で別に預かっている。
加藤委員	増えたら増えただけ違う所で町の予算をそれだけ確保しなければならないのでは？
露口主幹	ある程度目的に沿った部分で項目立てているので主旨に合った使い方をさせてもらっている。
河端主幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題について説明～</li> </ul> <p>電算システムの管理運用は、基本的に手作業などコンピューター処理以外ない中でコンピューターがないと実際の業務が進められない状況になっている。その一方で先日、年金機構の情報流失問題があったが皆から預かっている情報という資産をいかに守っていくかが最大の課題になっている。もう一点は、機械なので未来永劫とはいかず、年次的な更新が必要。クラウドという形が主流になってきているので今後に向けて対応出来るように形態を構築していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な考え方について説明～</li> <li>・計画の検証として～</li> </ul>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
栗崎部会長	行政のパソコンは個人がUSBメモリを刺したら警告音が鳴ったりするの か？
川端主幹	鳴らない。ウィルスが入っていた場合は画面に警告が出る。
池野本委員	役場の職員の全員のパソコンがサーバーに繋がっているのか？
河端主幹	ファイルサーバーには全員アクセスできる。基本住民台帳を取り扱う端末 ではインターネットを使えなくしてセキュリティを保っている。
栗崎部会長	他に特に発言なければ、次に進みたいと思います。
田村主幹	・計画の検証として～ 行政運営、行政サービスの効率化、危機管理体制の充実について説 明。
石坂主幹	・計画の検証として～ 行政運営、行政サービスの効率化の「公共施設等総合管理計画及び固定 資産台帳整備業務委託」は、計画策定に向けて実施していく。総合管理計 画について美幌町の施設は老朽化している。対応策が一挙にくる事になり 財源をどうするかを国が全体を把握するために関係ある市町村に策定を急 がせている。それを受け美幌町については整理をしなくてはならなく予算化 して動いている。美幌町として現況をどう把握するかは、固定資産台帳の整 理をして厳密に積み上げていき、将来的な維持管理費用を算出し相対の公 共施設の適正な配置や管理費用についての話しを整理した中で施設の更 新や統廃合の整理をしていきたい。公共施設の在り方を27年、28年に策定 をしていく。その後についても、地方公開で役場の会計は単式でやっている が、複式簿記に替えていく事を29年までに行わなければならない。前提の 基礎ベースが固定資産台帳となる。それを頭に入れながら総合管理計画と いう事で動いている。理解をお願いしたい。
栗崎部会長	建物メインの話しに聞こえたが、町道の橋なども入っているのか？
石坂主幹	総合管理計画の中では建物、社会インフラ、ライフラインの水道、下水道 関係も含め整備していく。
< 広報、広聴 >	テーマ < 14 広報、広聴 >
田村主幹	配布資料をもとに広報について説明 ・基本的な考え方について説明～ ・計画の検証として～
露口主幹	配布資料をもとに広聴について説明 ・現状と課題について説明～ ・計画の検証として～

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐久間委員	出前講座で相談体制とあるが、言葉がおかしい気がする。出前講座は役場から説明をするもので、相談を受けることは無いと思うが。
露口主幹	佐久間委員の御指摘は、まち育講座の充実と相談体制の充実は分けて考えるべきとの事ですね。
佐久間委員	別にする必要は無いと思うが、まち育は相談体制ではなく広聴体制と思う。「町民からの」と言う言葉も削除して、「まち育出前講座等の広聴体制の充実」にしてはどうか。
遠藤主査	施策にした方が良いか。
佐久間委員	それでも良いと思う。分けても良い。分けて相談体制について、今出ているものと別のことを項目としてあげるか。どちらでも良い。
露口主幹	相談については、今の段階で色々な相談窓口を設けている。充実の部分よりも相談窓口の利用しやすさの検討はあるかもしれない。今ある体制でも十分と思う。
遠藤主査	まち育講座は広報に入れた方が良いか。
佐久間委員	まち育講座には町からの情報発信と、町民からの意見を聞くことの2種類の意味があると思う。どちらに入れても良いと思う。
田村主幹	取り組み内容をまち育出前講座などの広聴機会充実と変更してはどうか
佐久間委員	まち育講座に対して相談という言葉を使用しているのが気になる。
遠藤主査	基本的には町の事を町民にアナウンスする意味合いが強い。
佐久間委員	<p>広報に入れても良いが、広聴で言うとまちづくり懇談会だけになってしまう。</p> <p>まち育を広報に入れて、露口主幹がおっしゃったとおり、相談窓口が充実していると思う。それを更に増やしていくとかではなく、この広聴体制を維持していくという内容を加える。</p>
露口主幹	<p>佐久間委員の提案があったとおり、今までも相談窓口については充実を図ってきたが、項目としてあげていないので、相談機会の提供と充実といったような項目を新たに計画に入りたいと思う。</p> <p>次に進みたいと思います。</p>
露口主幹	<p>テーマ &lt;9 国内外交流 &gt;</p> <p>配布資料をもとに地域間交流について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題について説明～</li> <li>・基本的な考え方について説明～</li> <li>・計画の検証として～</li> </ul>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
池野本委員	国内交流で日野市とは？
露口主幹	十数年前に終わってしまった。
池野本委員	良い経験をさせてもらった。もったいない。
露口主幹	地域間の交流は相手があつての事になるので、社会情勢なども出てきて続ける事は難しい。
小室主幹	配布資料をもとに観光、物産交流について説明 ・基本的な考え方について説明～ ・計画の検証として～
栗崎部会長	移住体験住宅は市街地にあるのか？
小室主幹	旧美幌中の教頭住宅を使っている。
栗崎部会長	農村に空き家が目立つが農村の希望はないのか？
小室主幹	今回は教員住宅が空くので利活用という事で整備した。議会でも農家住宅の活用の話しが出たが、気兼ねなく田舎暮らしをしたいとのニーズがあるので今後、整備は検討していく。レンタカーを貸すなどのアイデアも出ている。
志布委員	体験住宅の利用者の費用はどれ位かかるのか？
小室主幹	今回の住宅に限ると5泊以上60泊以内を原則に、1泊1,100円としている。この中にはガス、上下水道、電気、放送受信料が含まれている。 灯油だけは満タン返しをしてもらう。布団は貸し布団で料金がかかってしまう。
志布委員	審査があるのか？
小室主幹	申請書を出してもらい希望日と空き具合の調整をする。
栗崎部会長	これでよろしいですか。(異議無し)  テーマ <10 人権、男女共同参画 >
露口主幹	配布資料をもとに ・現状と課題について説明～ ・基本的な考え方について説明～ ・計画の検証として～

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
栗崎部会長	他に特に発言なければ、次に進みたいと思います。
露口主幹	<p>テーマ &lt;11 住民自治、コミュニティ&gt;</p> <p>配布資料をもとに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題について説明～</li> <li>・基本的な考え方について説明～</li> <li>・計画の検証として～</li> </ul>
佐久間委員	地域サポーター制度はこの項目には入ってこないのか？自治会のサポートとして入ってきてもいいのかも。
露口主幹	広報広聴の部分に入れている。
佐久間委員	サポーター制度を充実させようとしているのであれば、コミュニティーの部分に項目があっても良いと思うが。
池野本委員	地域サポーター制度とはなにか？
露口主幹	<p>町の職員が自治会に担当を割り付けられて会合などで意見を聞き、その職員が役場に持ち帰り伝える。</p> <p>地域の課題や相談を自治会のサポーター職員が窓口として聞いて、自治体担当に説明する。平成20年からスタートしているが、利用は少ない。サポーター職員も担当を固定し、自治会が声を掛けやすい体制にしていく。直接、相談窓口や住民活動窓口に来てもらえる事も多いので、利用が少ないのかもしれない。</p>
志布委員	どの自治会を誰が担当しているかはどうやってわかるのか？
露口主幹	役場のホームページでわかるようになっている。毎年5月に自治会の総会があり、その時に名簿を配布している。
佐久間委員	この計画だとお金を出す事しかやっていないように見える。
露口主幹	今回は、広く自治会の相談事を受けるという事が課題なので区分として広聴に含み整理させて頂いた。
佐久間委員	<p>必ず入れた方が良くと言うわけではないです。</p> <p>少し話が戻るが、広報・広聴の部分で「まちづくり懇談会の実施」とあるが、現在は行われていない。取り組み内容としては「地域サポーター制度」となっており、それであれば主な取組の部分で「地域サポーター制度」にした方がわかりやすいのでは。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
露口主幹	佐久間委員の提案があったとおり、住民自治・コミュニティの部分に地域サポーター制度の項目を入れた方がわかりやすいでしょうか。
佐久間委員	広報・広聴に残したままでも良いと思う。
露口主幹	住民自治・コミュニティの部分に「地域サポーター制度」の項目があった方が良いと言うことで、項目の追加をいたします。
露口主幹	<p>テーマ &lt;12 住民参加、協働 &gt;          配布資料をもとに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題について説明～</li> <li>・基本的な考え方について説明～</li> <li>・計画の検証として～</li> </ul>
栗崎部会長	まちづくり活動とは視察、研修もはいつてくるのか？
露口主幹 露口主幹	今は、国際交流推進委員会という団体が行っている学生を中心とした外国への派遣に対しての支援を隔年で行っている。
佐久間委員	自治基本条例に基づくまちづくりの推進で、自治基本条例では議会も入ると思うが、より細かい内容に入っていない。確認をして欲しい。
露口主幹	確認して議会も入るようであれば追加する。
栗崎部会長	他に無ければ次へ進みます。
	テーマ <15 広域行政 >
露口主幹	<p>配布資料をもとに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題について説明～</li> <li>・基本的な考え方について説明～</li> <li>・計画の検証として～</li> </ul>
栗崎部会長	特にこの項目で何も無ければ、全体をとおして何かありますか。
佐久間委員	広域行政のところ、「広域事務」と記載されているが、広域事務とはあまり聞かない。説明文とかは広域事務事業となっている。
遠藤主査	広域事務事業にします。
栗崎部会長	他に無ければ終了します。